



## 地域社会の一員としてコミュニケーションを図り積極的に社会貢献活動を行っています

### 社会貢献指針

#### 良き企業市民として 社会に貢献

プリマハムグループは、行動規範で「『良き企業市民』として積極的に社会貢献活動を行う」という原則を掲げるとともに、「事業を通じた社会貢献」「地域社会への貢献」「従業員による社会貢献活動の支援」を指針として、さまざまな活動に取り組んでいます。

#### 「食育」への貢献

##### 関東を中心に授業訪問するエリアを拡充

プリマハム(株)は、食品メーカーとして子どもたちに「食の大切さ」「食の安全性」を理解してもらうために、小学校への当社オリジナル教材の提供と、当社の従業員による小学校への出前授業に取り組んでいます。

3年目を迎える2016年度は、出前授業の対象エリアの拡大を目標に、関東を中心に、仙台市、名古屋市、大阪市、香川県、福岡市の小学校約5,700校あてにFAXをお送りしました。その結果、29校から出前授業の申し込みが、21校

##### 食育活動の実績と目標

	2014年度	2015年度	2016年度	2017年度(目標)
出前授業	20校	40校	29校	50校
教材提供	11校	34校	21校	50校
合計	31校	74校	50校	100校

から教材提供の申し込みがあり、関東エリアでは訪問実績が昨年度よりも増えました。また、出前授業を実施した小学校では、同校のWebサイトに掲載いただいたり、教員の方々から口コミで出前授業の紹介をいただいたりと、好評でした。

一方、子どもたちや講師担当者から「クイズが高学年には簡単すぎるのでは」という意見も聞かれたため、現在、問題のレベルを引き上げた教材を作成中です。2017年度中には完成する予定です。また、2017年度は、お申し込み数の目標を100校(出前授業50校、教材提供50校)と定め、関東に次いでご要望が多い関西エリアでの授業を拡充させていきたいと考えています。

##### 若手女性従業員を中心に講師担当者の拡充

講師担当者については若手の女性従業員からの関心が高かったため、2016年度は女性の新社員など9名を加え、計21名のメンバーで出前授業を開催しました。



2016年度に実施した  
出前授業の様子



新しく講師担当となった従業員には事前に研修を開催。授業教材を解説した後、新任講師担当が実際に模擬授業を実施して、参加者全員で改善点や良かった点などを話しあいました。その甲斐あって、出前授業の反応は良く、アンケートでも「わかりやすかった」と評価していただきました。

また、初めて講師担当者を経験した女性従業員からは「とても緊張していたが、子どもたちが積極的に授業に参加してくれてうれしかった」などの感想が寄せられました。今後も、講師担当者のスキル向上と出前授業の充実に取り組んでいきます。

##### <食育教材>

##### 「冷蔵庫をのぞいてみよう!」(パワーポイント形式)

身近な「冷蔵庫のなかにある食品」をテーマに、クイズ形式で、食品の正しい保存方法や食品表示の意味、食に関する環境問題などについて学ぶことができます。



##### 「保存食のヒミツ」(冊子形式)

「保存食」のつくり方などを通して、食べものを無駄なく大切に食べきる知恵と食べものの大切さを学ぶことができます。



## 次世代育成の支援

### 中学生や高校生の職場体験をお手伝い

プリマハムグループでは、職業観の形成や就職先の選択などにいかすことができるよう、中高生対象に職業体験を受け入れています。

プリマ食品(株)では、埼玉県吉見町教育委員会が主催している「中学生社会体験チャレンジ事業」に協力しています。2016年11月には、地元・埼玉県の中学1年生8名を招き、3日間の職業体験学習を実施。ギフトセットの箱づくりなどを体験しました。

プライムフーズ(株)では、同年10月に地元・群馬県の高校生計4名を受け入れました。当日は商品の検品や製造ライン作業などを体験してもらいました。参加した高校生からは「働くことのたいへんさや親のありがたみがわかった」「普段食べているものが丁寧に作られていることを実感した」などの感想が聞かれました。

今後も、こうした体験学習を通じて次世代の育成に貢献していきたいと考えています。

### 各工場では工場見学も受け入れ

地元企業の活動を知ることで就労へのイメージを持ってもらうこと、そしてものづくりへの関心を持ってもらうことを目的に、プリマハムグループでは各工場では工場見学も受け入れています。

プリマハム(株)では、2016年6月に北海道工場では地元の高校生と教員の方の計10名を招き、ハムやソーセージの生産工程や品質・衛生管理の現場を見てもらいました。また、プリマ食品(株)でも10月に地元の小学5年生18名を受け入れました。



北海道工場を訪れた高校生



プリマ食品(株)では食育クイズを実施

## 地域活性化への貢献

### 各地の工場では納涼祭などを実施

プリマハムグループでは、各地の工場を地域の方々に開放して納涼祭を実施し、地域の活性化に貢献しています。

鹿児島工場では、2016年8月28日に38回目となる納涼大会を開催し、約1,000名の地域の方々をお招きしました。会場ではさまざまな模擬店を出店するとともに、ステージでは地元高校生による本格的なマーチングバンドの演奏やゲストによる日本舞踊などが披露され、たいへんな賑わいを見せました。

加工食品を製造する秋田プリマ食品(株)でも、8月20日に40回目となる「秋田プリマ食品納涼祭」を開催し、1,000名を超える地域の方々にお越しいただきました。会場では、秋田由利牛を使ったローストビーフや工場生産したローストポーク、ご当地グルメ「本庄ハムフライ」などの模擬店を出店しました。また、「大曲の花火」で多数の賞を受賞している(株)小松煙火工業様による打ち上げ花火で、会場を盛り上げました。



地元高校生による  
マーチングバンドの演奏  
(鹿児島工場)



地元の団体によるフラダンス  
ショー(秋田プリマ食品)

## 地域イベントに参加

プリマハムグループは、各地域で開かれるイベントなどにも積極的に協力・参加しています。

### 西柘植まちづくり協議会／三重工場

2016年4月17日と10月23日、三重県伊賀市で西柘植まちづくり協議会が開催され、餃子をつくって地域の方々との交流を深めました。



### さのさ祭り市中流し／鹿児島工場、西日本ベストパッカー、プリマ環境サービス鹿児島事業所

2016年7月17日、毎年恒例のさのさ祭り市中流しが開催され、鹿児島工場、西日本ベストパッカー(株)、プリマ環境サービス(株)鹿児島事業所から120名が市中流し踊りに参加しました。



### 地かえて祭り／鹿児島工場

2016年10月29・30日、恒例の「地かえて祭り」が開催され、鹿児島工場も出店。おなじみとなった当社フランクも大好評で追加出庫をするほどの売れ行きでした。



### 市民ボート大会「子吉川レガッタ」／秋田プリマ食品

2016年9月11日に開催された市民ボート大会「子吉川レガッタ」に男女各1チーム計10名が出場しました。大会は37回目を迎え、地域の方々にとっては秋の訪れを告げる風物詩として定着しています。



### 第23回くにみの日2016／プリマルーケ

2016年9月22日に開催された「第23回くにみの日2016」《がんばろう!熊本・大分地震復興支援》のご当地グルメコーナーに出店。くにみの日には2001年から毎年参加しており、翌日には清掃活動にも参加しました。



## 海外での社会貢献

### 地元小学校に訪問して教材などを提供

(プリマハムタイランド社)

2016年10月9日、プリマハムタイランド社は地元のスーパーマーケット「VILLA MARKET」と連携して、サコンナコン県サコンナコン市にある小学校を訪問。学校教材を提供したほか、工場で作っているソーセージや網焼き豚肉を試食してもらいました。子どもたちからは「アローイ(おいしい)」といただいただいたほか、タイ伝統舞踊で訪問の御礼をいただきました。



タイの小学校へ訪問

### 大学、専門学校の研修先として

### 工場近隣の学生を受け入れ

(プリマハムタイランド社)

プリマハムタイランド社は、2010年から工場近隣の大学や専門学校の企業研修先として学生を受け入れていますが、また、この研修の参加者のうち数名を事務スタッフやエンジニアメンバーとして採用しています。

2016年度は、5名(大学生4名、専門学校生1名)の研修を実施。2～4ヶ月の長期期間にわたって、品質管理やエンジニアの現場作業に同行して実地研修をしました。

## 植林・森林保全への貢献

### ■ 「プリマハムの森林づくり」

プリマハムグループは、2006年から「プリマハムの森林づくり」として埼玉県の森林保全活動を推進し、プリマ食品(株)の従業員が中心になって間伐作業などを行っています。2016年度の活動実績はCO<sub>2</sub>吸収量5.2トン-CO<sub>2</sub>/年と認証されました。この実績は人間の呼吸によるCO<sub>2</sub>年間排出量に換算すると16人分に相当します。

そのほかにも、北海道工場では清水町林業推進協議会主催の植樹祭「しみずグリーンフェスティバル」に従業員ら27名が参加し、サクラ・アカエゾマツなど約500本を植樹しました。

また、秋田プリマ食品(株)では、本荘水源の森育成会主催の育林活動に8名が参加し、活動開始当初に植樹された木々の枝落としや周辺の清掃を実施しました。



左上) プリマハムの森林づくり  
右上) 「2016しみずグリーンフェスティバル」に参加(北海道工場)  
左下) 育林活動に参加(秋田プリマ食品)

## 環境美化への貢献

### ■ 事業所周辺地域を清掃

国内のプリマハムグループでは、全国各地の環境美化イベントへの参加や事業所周辺の清掃活動などを通じて、地域の環境美化への貢献に努めています。

#### 「ラブアース・クリーンアップ」に参加(北海道工場)

2016年5～10月まで実施された北海道全道民を対象にした全道一斉ごみ拾い「ラブアース・クリーンアップ in 北海道 2016」に毎月1回、従業員約10名が参加。



#### 「霞ヶ浦・北浦地域清掃大作戦」に参加(茨城工場)

2016年7月31日と2017年3月5日に開催された「霞ヶ浦・北浦地域清掃大作戦」に延べ248名が参加し、河川敷のごみ回収などを実施。



#### 照島海岸のボランティア清掃に参加(鹿児島工場)

2016年7月18日、いちき串木野市主催の照島海岸のボランティア清掃に約30名参加。



#### 建屋周辺道路の清掃活動(プリマルーケ)

2016年3月30日、建屋周辺道路の清掃活動を実施。3名の参加者で空缶やペットボトル、タバコの吸い殻などを回収。



#### 工場周辺道路の清掃活動(四国フーズ)

工場周辺道路の清掃活動を毎年6月・10月・12月・3月の4回実施(参加人数は毎回10名前後)。



#### 「くまもと・みんなの川と海づくりリーダー」に参加(熊本プリマ)

2016年10月30日、熊本の県民運動「くまもと・みんなの川と海づくりリーダー」に14名が参加。自然豊かな田園が広がる川沿いを清掃。



#### 「ふれあい市ノ川クリーンアップ作戦」に参加(プリマ食品)

2016年11月12日、地域交流イベント「ふれあい市ノ川クリーンアップ作戦」に18名が参加。市ノ川土手のごみ拾いを実施。

## 国・自治体との連携

### 畜産業の6次化事業会社 「(株)ビースマイルプロジェクト」に出資

近年、日本の生産農家の過疎化や高齢化に伴う後継者不足が深刻化しており、農林水産省は6次産業化※を推進して地域資源を活用した新事業の創出などを促しています。その一環として2016年3月に発足された畜産業の6次化事業会社「(株)ビースマイルプロジェクト」に、(株)農林漁業成長産業化支援機構、(株)日本政策投資銀行などともに、プリマハム(株)も出資しています。

この新会社は、飼料供給などで畜産農家を支援するほか、牛肉の生産から加工・流通・販売・外食まですべてを一貫して行い、国際競争が激しくなる畜産業界の体質強化を図っていきます。そのなかで当社は、安定した和牛の生産・販売の仕組みづくりに貢献していきます。

#### ※6次産業化

農林水産物を収穫・漁獲(第1次産業)するだけでなく、加工(第2次産業)し、流通・販売(第3次産業)まで手がける経営手法



(株)ビースマイル  
プロジェクトが提供する  
和牛肉

## NPOの支援

### チャリティウォーク 「WFPウォーク・ザ・ワールド」に参加

プリマハムグループは、国連WFP協会が主催する「WFPウォーク・ザ・ワールド」に2014年から協賛しています。「WFPウォーク・ザ・ワールド」は、途上国の子どもたちの飢餓をなくすチャリティウォークで、参加費の一部は国連WFPの学校給食プログラムに役立てられます。2017年度も横浜と大阪で開催され、それぞれ31名、36名が参加しました。



チャリティウォーク参加者(横浜)

## 災害の支援

### 国連WFP協会を継続支援

プリマハムグループでは、飢餓で苦しむ子どもたちに給食を届けるための「レッドカップキャンペーン」(主催:国連WFP協会)に協力。2016年度も「デミグラスハンバーグ100g×3」を対象商品として、引き続き、売り上げの一部(100万円)を寄付しています。

### 熊本地震の被災地を支援

プリマハム(株)は、熊本地震の被災地を支援するため、関係省庁や自治体、現地流通業者様と連携し、被災地に当社商品のレトルトソーセージ、ドライソーセージなど22,800パックを支援物資としてお届けしました。

また、義援金として500万円を拠出するとともに、2016年7月1日～8月31日の製造分までを対象に「くまモンのソーセージ義援金キャンペーン」を実施。1箱お買上げいただくごとに15円を義援金として熊本県庁に寄付しました。

